

中ノ沢観音堂

この観音堂は、会津三十三観音巡礼の11番目の停留所で、日本の慈悲の菩薩である観音に捧げられており、室町時代初期（1336～1573）に建てられました。初期の建物は、平安時代（794-1185）の相津地方の著名な僧侶である徳一大師（781-824）によって建てられたと考えられています。しかし、オリジナルは消失し、その後現在の場所に再建されました。そこには、魅力的な池もあります。1960年に重要文化財に指定されました。